

2010年度

| | | | | | |
|---|---|----|-------|-----|-------|
| 科目名 | 日英語比較2 | | | | |
| 担当教員 | 溝口 健司 | | | | |
| 配当 | 英語2 | | | コード | 12330 |
| 開期 | 後期 | 講時 | 月曜日2限 | 単位数 | 2 |
| 授業テーマ | 日本語と英語の諸相を比較することによって、それぞれの言語と文化の特質を探る。 | | | | |
| 目的と概要 | 人間という同じ動物種の産物である以上、日本語と英語は言語の本質部分を共有している。しかしまた、日本語も英語も、それぞれが固有の地域で固有の文化・歴史を基盤として成立しているために、非本質部分で固有の性格をもつことも事実である。両言語の相違は、言語類型、語彙、語順、文構造、音韻体系、文字体系、情報構造、時間表現、場所表現、翻訳可能性、表現性、発想、論理性などの個々の領域において、またいくつかの領域をクロスした形で現れる。日本語と英語がなにを共有し、どの部分がどのように異なり、そしてそれはなぜなのかを考える。 | | | | |
| 成績評価法 | 質疑応答における発言の質・量(50%)、および不定期試験(50%)によって評価する。 | | | | |
| テキスト | 英語の論理・日本語の論理/安藤貞雄/大修館書店 | | | | |
| 参考書 | 大修館英語学事典/松浪有ほか(編)/大修館書店 日本語百科大事典/金田一春彦ほか(編)/大修館書店 | | | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | 「日英語比較1」を履修していることが望ましい。 | | | | |
| 講義計画 | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 音韻体系の比較 (1) 3. 音韻体系の比較 (2) 4. 音韻体系の比較 (3) 5. 文字体系の比較 (1) 6. 文字体系の比較 (2) 7. 主語と主題 (1) 8. 主題と主語 (2) 9. テンスとアスペクト (1) 10. テンスとアスペクト (2) 11. ダイクシスの比較 (1) 12. ダイクシスの比較 (2) 13. 社会言語学と翻訳 (1) 14. 社会言語学と翻訳 (2) 15. 総括 | | | | | |